



北海道ファミリーハウス

—NPO法人—

北海道

ファミリーハウス通信

2010年1月15日発行No.5

発行: NPO法人北海道ファミリーハウス
 責任者: 事務局長 大西 可奈
 060-0807 札幌市中央区北7条西6丁目
 TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162



特定非営利活動法人
 北海道ファミリーハウス
 理事長 松本 脩三

子どもたちの笑顔づくり

病院とボランティアの協力を得て人形劇・演劇をプレゼント……

「ごあいさつ」

皆様には日頃からファミリーハウス運動
 に対しましてご理解、ご支援を賜りまして
 心から感謝申し上げます。

昨年は、はじめての取り組みとして、入
 院して治療を続ける子どもたちの笑顔づく
 りのため、病院の協力を得て院内での人形
 劇や劇団上演などを行いました。

ひとりで会場まで来られる子どもや家族
 や看護師さんに付き添われて来る子どもた
 ち、ほんの短い時間ですが、私たちも楽し
 いひとときを過ごすことができました。

これからも治療に専念し、一日も早く元
 気になることを望みます。
 加えて、今回の院内での催しには多くの
 皆様のご協力を頂戴しました。ここに深く
 感謝申し上げます。

新年も皆様のご理解ご支援を賜りますよ
 うお願い申し上げます。

昨年を振り返り、以下に活動の一部をご
 紹介いたします。

二〇〇九年の活動を振り返って

■札幌医科大学

附属病院で人形劇を上演

平成二十一年八月十二日札幌医科大学附属病
 院で、人形劇団「えりっこ」を迎え、楽しく夢
 あふれる人形劇を上演しました。

上演前から多くの子どもたちが会場に詰めか
 け、人形劇が始まると身を乗り出して見てい
 ました。笑ったり、驚
 いたり楽しいひととき
 を過ごしたようです。

中には点滴の器具を
 付けたままの子どもや
 ギブス装着の子どもな
 ど、毎日懸命に治療に
 励んでいる様子がうか
 がえ、私たちも思わず
 「早く元気になれ！」
 と声をかける場面もあ
 りました。

上演が終わると人形劇で使われたパイプオル



「ふしぎの森のヤーヤー」を上演

ガンを触ったり演奏すること
 もでき、思いもよらないプレ
 ゼントに子どもたちは大喜び
 でした。

【人形劇団えりっこ】

人形劇団えりっこは、北海道
 初の専門劇団です。えりっこの
 人形劇はさまざまなスタイルの
 人形を操り、どんな場所でも公
 演できるように創られています。
 子どもはもろろん、むかしむ
 かし、子どもだった皆さんも楽
 しんでいただけたと思います。

劇団パンフレットより抜粋

■北海道大学病院で演劇を上演

平成二十一年十月一日北海道大学
 病院の体育館で、劇団「風の子」を
 迎え小児科で治療を続けている子ど
 もたちと楽しいひとときを過しま
 した。

風の子の上演は二部構成で、体育
 館には終始子どもたちの歓声が響き
 企画した私たちも大変嬉しく思いま
 した。



たくさん子どもたちが体育館に集まる

【劇団風の子がめざす演劇】

九五〇年に子どもたちを観
 客対象にした専門劇団として創
 立しました。
 風の子がめざす演劇は、子ど
 もたちが自由に創造力や想像力
 をふくらませながら、人間の生
 活に興味と関心をもってくださ
 るような作品づくりを、生きるこ
 とを励まし元気づけるような演
 劇をつくり出したと思っています。

(全団に十の活動拠点を有する)
 劇団パンフレットより抜粋



子どもたちが喜ぶチケットも用意！



パイプオルガンを演奏する子どもたち